

## V. 特記事項

### 1. 歯学部における海外協定校との学生交流事業

本学の建学の精神は「国際未来社会に活躍し得る有為な人材の育成」であり、国際交流活動は本学の基幹をなすものである。歯学部では「明海大学学生奨学海外研修派遣規程」に基づき、渡航費、授業料、宿泊費等の研修に係る費用は大学が負担し、海外協定校への学生派遣（5年次に36人）を行い、国際性の涵養を図っている。また当該校からの研修生も積極的に受入れ、活発な学生の相互交流が行われている。

研修先	開始年	派遣人数/年間	派遣人数/累計	受入人数/累計
カリフォルニア大学ロサンゼルス校（アメリカ）	1993	5人	124人	201人
アラバマ大学バーミングハム校（アメリカ）	1999	5人	102人	170人
テキサス大学サンアントニオ校（アメリカ）	1995	5人	121人	188人
タフツ大学（アメリカ）	2016	2人	6人	5人
メキシコ州立自治大学（メキシコ）	1994	5人	124人	208人
北京大学口腔医学院（中国）	1994	5人	120人	130人
空軍軍医大学口腔医学院（中国）	2002	5人	80人	79人
トゥルク大学（フィンランド）	2006	2人	26人	24人
シエナ大学（イタリア）	2009	2人	20人	18人

[平成31(2019)年3月31日現在]

### 2. 外国人留学生の日本語運用能力向上のための取り組み

建学の精神である「国際未来社会に活躍し得る有為な人材の育成」の具現化に向けて、外国人留学生に対し、日本での就職を見据えた日本語運用能力向上を図る取り組みとして、複言語・複文化教育センターの学修施設「日本語ゾーン」において、日本語・日本文化教育部門専任教員による各種講座を開講している。1年次配当授業科目「アカデミック日本語」(計8単位)と連動した日本語能力検定試験対策講座を中心に、各種検定対策や就職試験対策等、学生個々の強化したい部分に柔軟に対応できるよう講座テーマの見直しを行いながら、年間を通じて週10コマから20コマ程度の講座が開講され、継続的に日本語を学修できる体制が構築されている。なお、日本語ゾーンは講座のない時間帯も開放し、いつでも学修できる環境が整備されている。

### 3. 地域における生涯学習拠点の形成（オープンカレッジ）

本学は、地域社会に根差し、大学の知的財産を社会に還元することも重要な使命と捉え、平成5(1993)年に浦安キャンパスにオープンカレッジを設置、賛助会員制度（令和元(2019)年5月1日現在登録者数2,024人）を設け、学生、教職員及び一般市民に対し、各種講座の開講（平成30(2018)年度実績：教育・教養46講座、実務・ビジネス29講座、趣味・生活19講座、健康・スポーツ205講座、延べ受講者数2,876人）及び大学施設（スイミングプール、ダイビングプール、トレーニングルーム、マルチスタジオ、テニスコート、カルチャールーム、オーディオスタジオ及び和室）の開放事業を行っている。各種講座の中には、本学学生の進級要件に係る資格取得対策講座も含まれ、学生にとっても重要な役割を果たしている。また、地域住民と学生及び教職員の相互交流を図る機会として、学園祭での成果発表（平成30(2018)年度実績11団体）や、新春もちつき大会（延べ参加者数約800人）を開催し、生涯学習のみならず地域交流の拠点としての役割も果たしている。